

# 第48回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会

## 審査規定

### 1. 審査内容

- 1) 選手権6種目は全日本バトントワーリング選手権大会審査内容に準ずる。
- 2) アーティスティック種目は2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会日本代表選考会審査内容に準ずる。
- 3) IBTF日本代表選考会 東海代表の選出は全日本選手権大会選出者の上位から選出する。

### 2. 審査員は次の通りとする。

- 1) 審査員は次の通りとする。
  - ①選手権6種目は日本バトン協会公認審査員が行う。
  - ②アーティスティック種目はWBTF公認審査員が行う。
- 2) 審査員長・審査副員長
  - ①審査委員長1名、副審査委員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
- 3) 審査員・ペナルティ審査員
  - ①審査員は3～5名とする
  - ②選手権6種目のペナルティ審査員は、1名とする。

### 3. 順位の決定は次の通りとする。

#### 【選手権の部】

- ①審査員3名～5名により10点法（小数点第2位）で採点を行う。
- ②準々決勝は審査員3名と1人のペナルティ審査員で行う。
  - ア) 各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。  
席次点合計の低い方を上位とする。準決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。
- ③準決勝及び決勝は審査員3名～5名で行う。  
各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。
- ④審査員の人数により順位の決定は以下のように行う。
  - ・審査員が3名の場合
    - ア) 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。
    - イ) 準決勝、決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。
    - ウ) 決勝順位が同位の場合のみ次の優先順位に従って決定する。
      - 優先順1 ペナルティ減点後の全審査員の点数合計の高い方を上位とする。
      - 優先順2 さらに同位の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位が同位の場合のみ審査員3人の投票により決定する。

## ・審査員が5名の場合

- ア) 換算した席次点の最上位・最下位を除いた合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
- イ) 準決勝、決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。
- ウ) 決勝順位が同位の場合のみ次の優先順位に従って決定する。
  - 優先順 1 審査員全員の席次点合計の少ない方を上位とする。
  - 優先順 2 ペナルティ減点後の全審査員の最高点・最低点を除いた点数合計の高い方を上位とする。
  - 優先順 3 ペナルティ減点後の全審査員の点数合計の高い方を上位とする。
  - 優先順 4 さらに同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位が同位の場合は、5名の審査員の投票により決定する。

## 【IBTF日本代表選考会 東海支部予選の部】

(ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン)

※全日本選手権東海支部大会と同時審査とし、全日本選手権東海支部大会の集計結果の上位から代表を選出する。

(アーティスティックトワール・ペア・フリースタイルチーム・アーティスティックグループ)

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

- ①アーティスティックトワール・ペアは10点法(小数点第2位まで)、フリースタイルチームとアーティスティックグループは100点法(小数点第1位まで)により採点し、得点とする。
- ② 準決勝及び決勝は審査員3名～5名で行う。
  - ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
  - イ) 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。
    - 優先順 1 各審査員の得点より、席次を算出し全審査員の席次合計の低い方を上位とする。
    - 優先順 2 各審査員の得点より、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
    - 優先順 3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
    - 優先順 4 さらに、同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位が同位の場合は5名の審査員の投票により決定する。